
市川町農業景況調査

2024年7-12月期

市川町商工会

目 次

I. 調査要領.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 管内調査.....	1
II. 管内調査結果.....	2
1. 業況.....	2
2. 採算の状況.....	4
3. 資金繰りの状況.....	6
4. 人材の状況.....	7
5. 設備投資の実施状況.....	8
6. 今後の経営方針.....	10
7. 原油高・原材料高による影響.....	11
8. その他（自由記述）.....	12

1. 調査要領

1. 調査目的

管内の農業者の景気動向について、その実態を把握すると共に、全国の情勢との違いを把握する。
※全国の情勢は、日本政策金融公庫「農業景況調査」の調査結果を参照にした。

2. 管内調査

市川町商工会管轄内の農業者を対象に、アンケート調査を実施した。

- (1) 対象農業者数…5者
- (2) 調査方法…商工会の職員による訪問面接調査
- (3) 調査対象期間…2024年7月から12月末の半年間を対象とした。

※指標について

本報告書のD Iとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目において増加・上昇・好転とした事業者割合から、減少・低下・悪化とした企業割合を引いたものである。

II. 管内調査結果

1. 業況

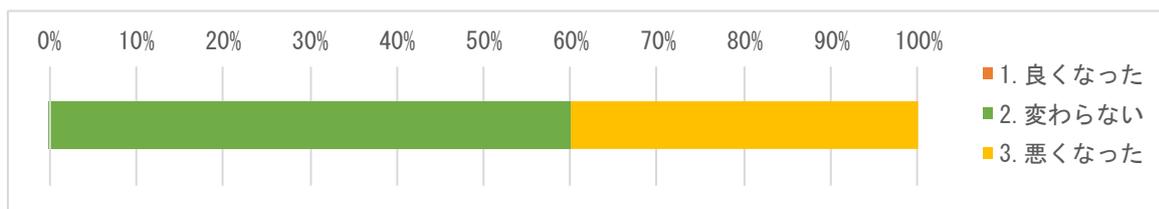
(1) 業況D I (2024年通期)

2024年の業況が、「変わらない」と回答した事業者は3者、「悪くなった」と回答した事業者は2者あり、D Iは▲40.0であった。

全国のD Iは10.5であった。市川町の業況は、全国の業況よりも悪い。

図表1. 業況D I (2024年通期)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
0	3	2	5	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	10.5



(2) 業況判断の背景 (自由回答)

「悪くなった」背景として、「病虫害の多発や異常気象」を挙げている。

「変わらない」背景として、「暑さに強い品種を多く取り入れた」という事業者の工夫によるものや、「世代交代による生産力低下」といった社会問題を挙げている。

【参考資料】 自由記述回答

問 2-2 業況判断の背景について、貴社が感じておられることをお書きください。

暑さに強い品種を多く取り入れた

病虫害の多発や異常気象による大幅な減収

米政策による農業離れに加えコロナ禍後世代交代が一気に進み、農村部の農業生産能力と意欲が著しく低下している事と、物価高による買い控えも大きく影響し、業績にも大きく影響している。

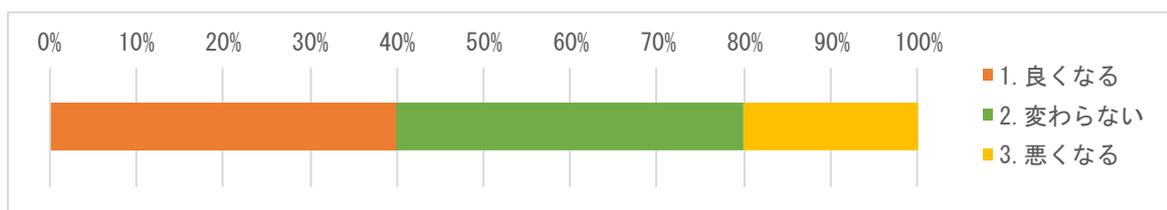
(3) 業況D I (2025 年見通し)

2025 年の業況見通しを、「良くなる」「変わらない」と回答した事業者は 2 者ずつ、「悪くなる」と回答した事業者は 1 者あり、D I は 20.0 であった。

全国の D I は 7.6 であった。2025 年の業況見通しにおいても、市川町の方が全国よりも良い。

図表 2. 業況D I (2025 年見通し)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	合計	1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	DI	DI
2	2	1	5	40.0	40.0	20.0	20.0	7.6



2. 採算の状況

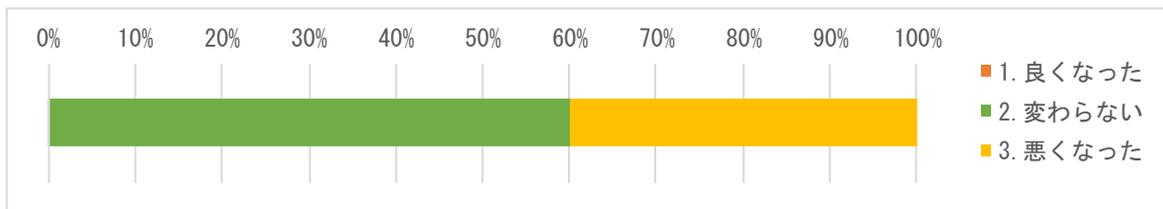
(1) 採算D I

採算が「悪くなった」と回答した事業者は2者、「変わらない」と回答した事業者は3者あり、D Iは▲40.0であった。

全国のD Iは、7.5であった。市川町の採算は、全国よりも悪い。

図表3. 採算D I

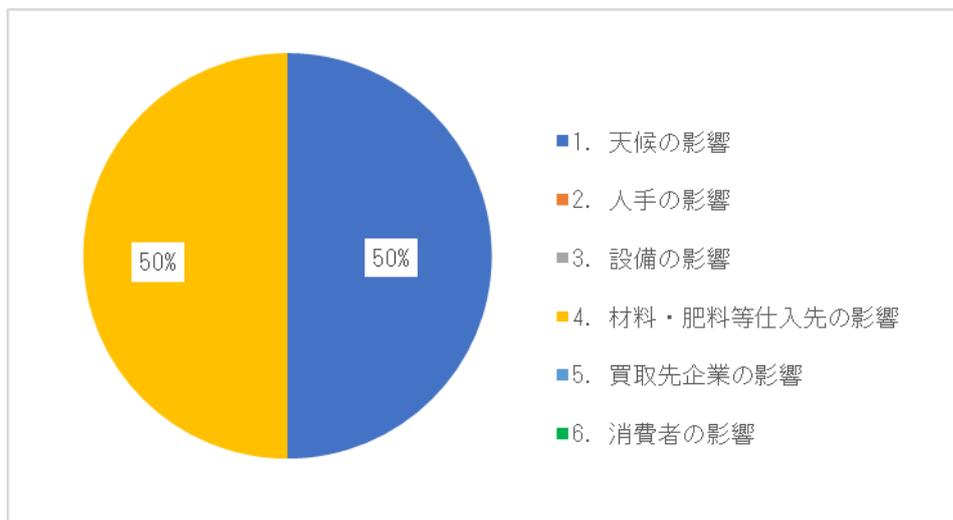
農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
0	3	2	5	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	7.5



(2) 収支が好転、または悪化した理由

収支が悪化した理由は、「1.天候の影響」「4.材料・肥料等仕入先の影響」と回答した事業者が1者ずつであった。

図表4. 採算好転悪化の理由



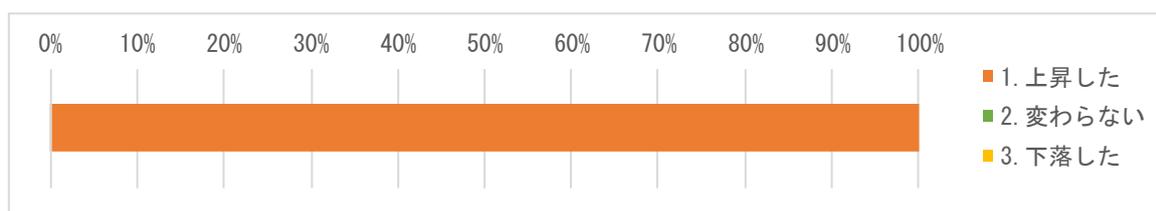
(3) 販売価格D I

販売価格が「上昇した」と回答した事業者は5者あり、D Iは100.0であった。「変わらない」「下落した」と回答した事業者はいなかった。

全国のD Iは47.2であった。前回調査と同じく、市川町の販売価格は全国よりも高い傾向にある。

図表5. 販売価格D I

農業者数				構成比			市川町	全国
1. 上昇した	2. 変わらない	3. 下落した	合計	1. 上昇した	2. 変わらない	3. 下落した	DI	DI
5	0	0	5	100.0	0.0	0.0	100.0	47.2



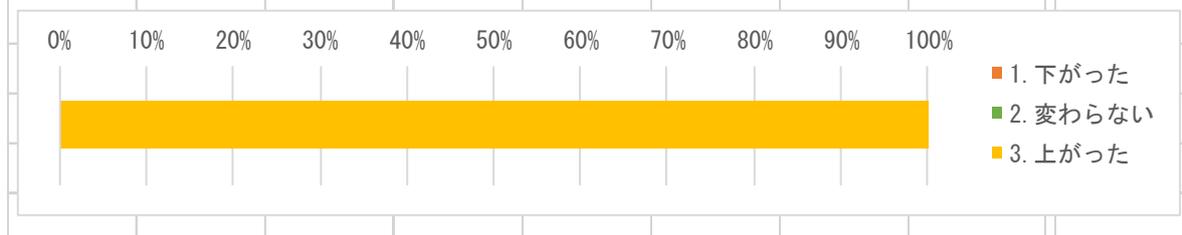
(4) 生産コストD I

生産コストが「下がった」「変わらない」と回答した事業者はおらず、すべての事業者が「上がった」と回答しており、市川町のD Iは▲100.0となった。

全国のD Iは▲79.4であった。全国と市川町ともに、生産コストは上昇傾向にある。

図表6. 生産コストD I

農業者数				構成比			市川町	全国
1. 下がった	2. 変わらない	3. 上がった	合計	1. 下がった	2. 変わらない	3. 上がった	DI	DI
0	0	5	5	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲79.4



3. 資金繰りの状況

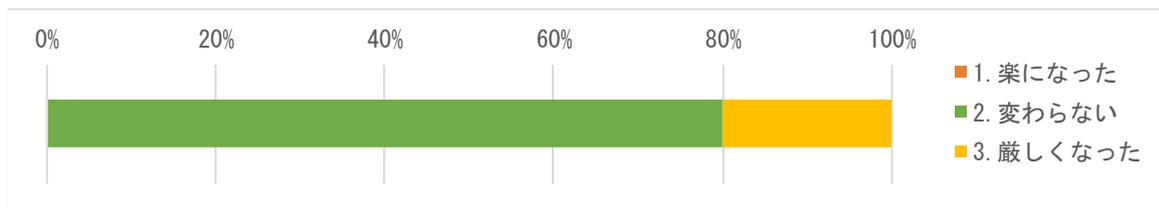
(1) 資金繰りDI

資金繰りが「変わらない」と回答した事業者は4者、「厳しくなった」と回答した事業者は1者あり、DIは▲20.0であった。

全国のDIは▲0.7であった。市川町の方が全国に比べて数値が悪く、資金繰りの状況は全国と市川町ともに厳しい状況にある。

図表7. 資金繰りDI

農業者数				構成比			市川町	全国
1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	合計	1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	DI	DI
0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲20.0	▲0.7



4. 人材の状況

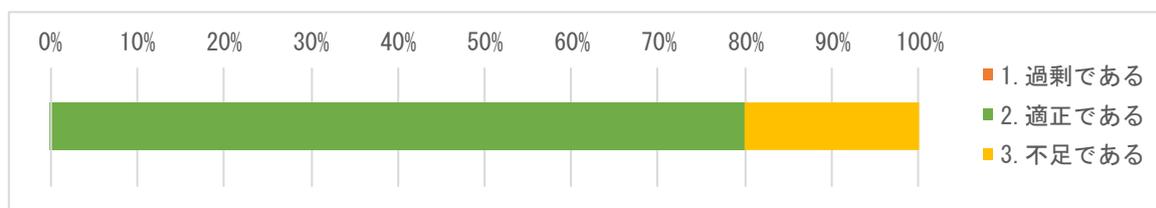
(1) 人材D I

人材が「適正」と回答した事業者は4者、「不足」と回答した事業者は1者あり、市川町のD Iは▲20.0であった。「過剰」と回答した事業者はいなかった。

全国のD Iは▲37.4であった。市川町と全国ともに人材不足の傾向があるが、市川町の方が、全国に比べ人材は適正な状況である。

図表8. 人材D I

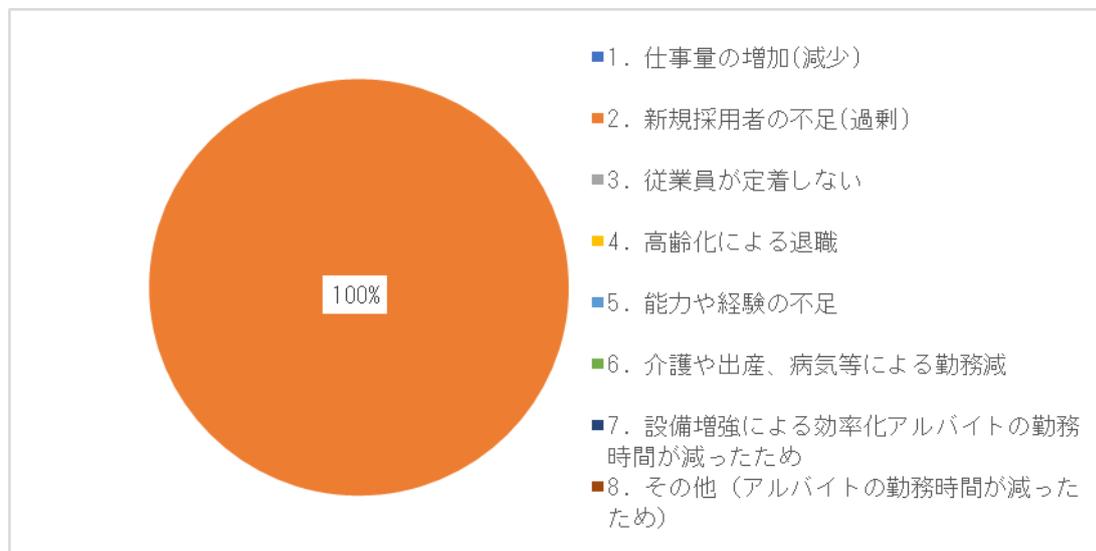
農業者数				構成比			市川町	全国
1.過剰である	2.適正である	3.不足である	合計	1.過剰である	2.適正である	3.不足である	DI	DI
0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲ 37.4



(2) 人材が過剰又は不足の理由

人材が「不足である」と回答した1者は、「2. 新規採用者の不足」を理由とした。

図表9. 人材過不足の理由

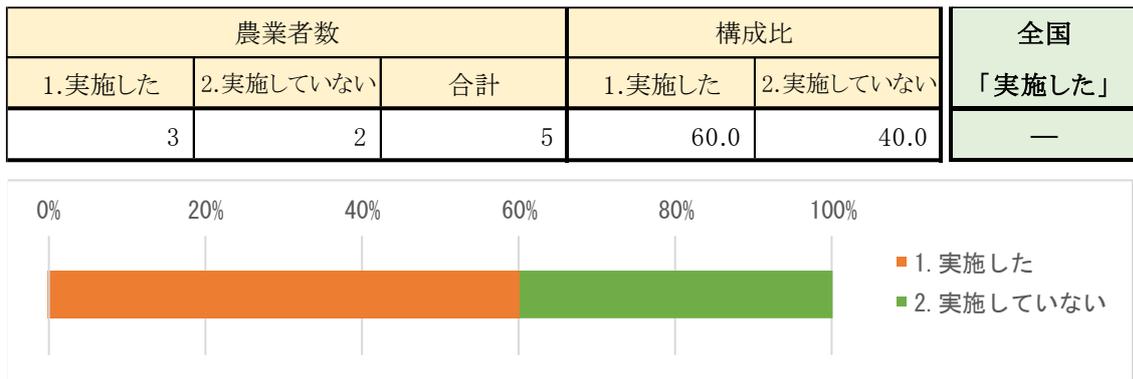


5. 設備投資の実施状況

(1) 今期の設備投資

2024年に設備投資を「実施した」と回答した事業者は3者、「実施していない」と回答した事業者は2者であった。

図表10. 今期の設備投資実施状況

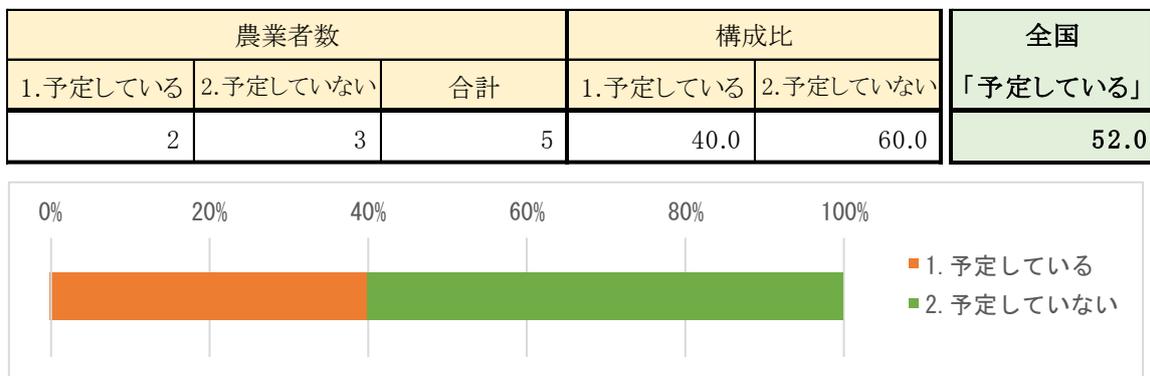


(2) 今期の設備投資予定

2025年の設備投資を「予定している」と回答したのは2者(40.0%)あり、「予定していない」と回答したのは3者(60.0%)だった。

全国で「予定している」の回答は52.0%であった。市川町の方が、全国よりも設備投資に対して消極的である。

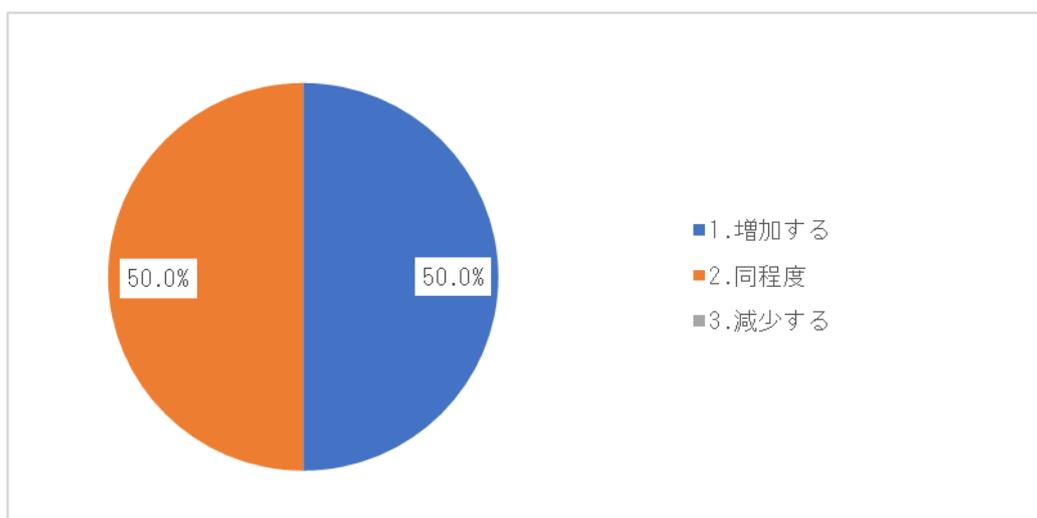
図表11. 今期の設備投資の予定



(3) 前年と比べた今年の設備投資額

2025年に設備投資を予定している事業者2者のうち、「1. 増加する」と回答した事業者が1者、「2. 同程度」と回答した事業者が1者であった。

図表1 2. 前年と比べた今期の設備投資額

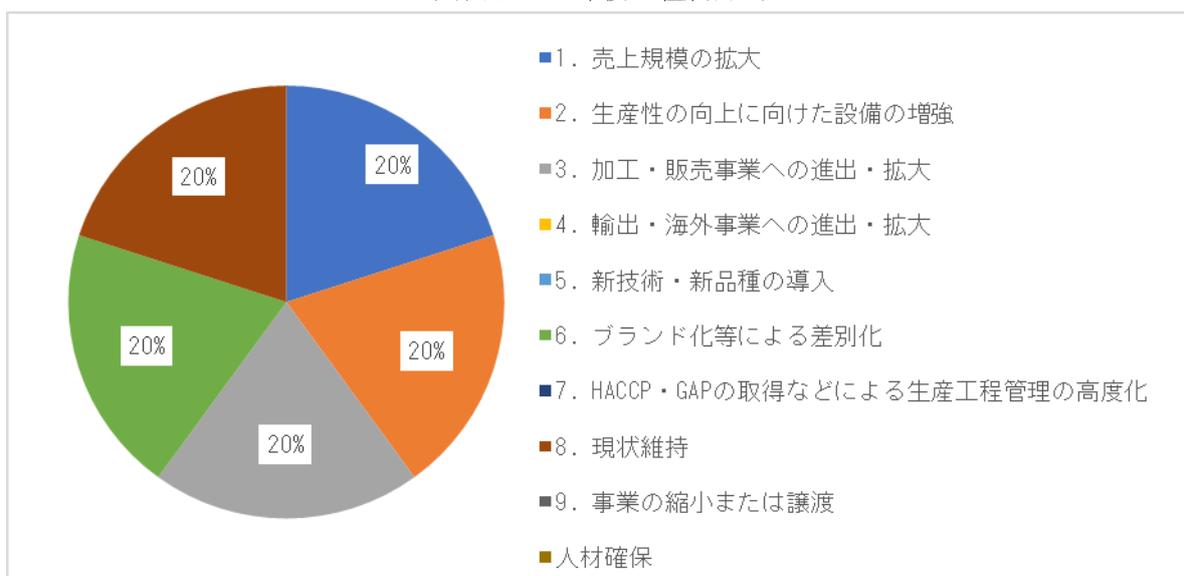


6. 今後の経営方針

(1) 重視する経営方針

今後の経営方針について、「1. 売上規模の拡大」「2. 生産性の向上に向けた設備の増強」「3. 加工・販売事業への進出・拡大」「6. ブランド化による差別化」「8. 現状維持」を挙げた事業者がそれぞれ1者ずつあった。

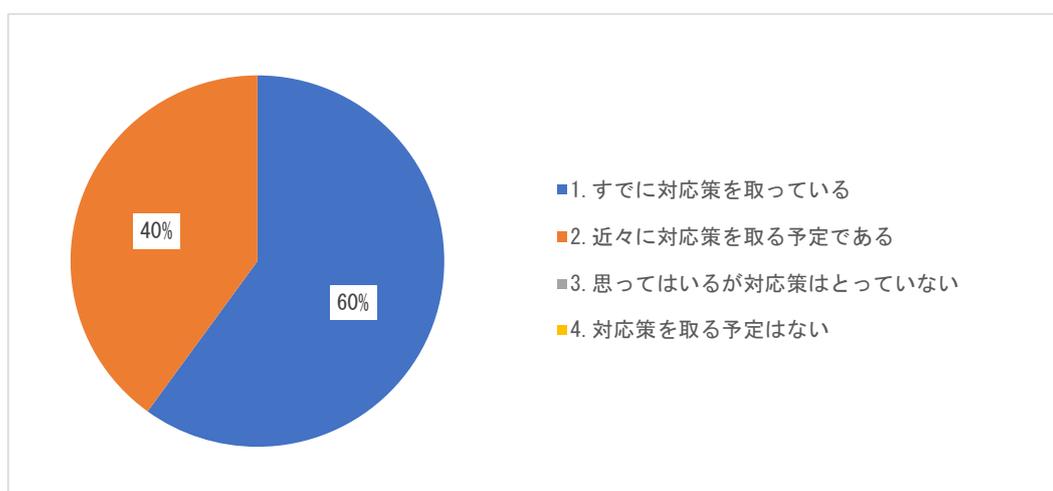
図表 1 3. 今後の経営方針



(2) 経営方針に対する取り組み状況

(1) に挙げた経営方針に対する取り組みを「すでに行っている」と回答した事業者は3者であった。あとの2者も「近々に対応策を取る予定である」と回答しており、課題に対し行動を起こしている様子が見て取れる。

図表 1 4. 経営方針に対する取り組み状況

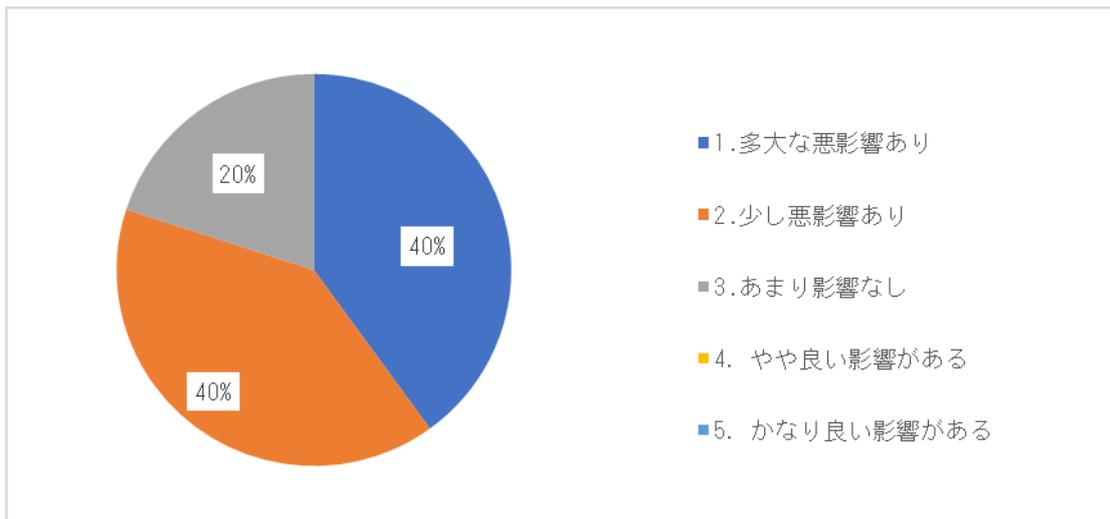


7. 原油高・原材料高による影響

(1) 今期売上高への影響

「1. 多大な悪影響あり」「2. 少し悪影響あり」はそれぞれ2者ずつ、「3. あまり影響なし」が1者であった。前回調査同様、原油高・原材料高に関する悪影響が大きい状況である。

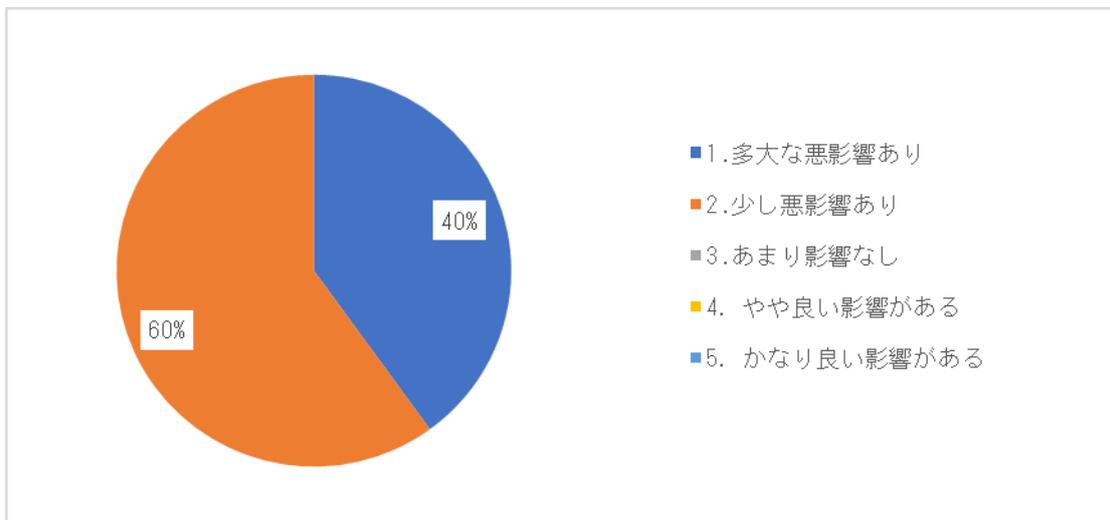
図表 1 5. 原油高・原材料高の売上高への影響



(2) 今期の採算（経常利益）への影響

「1. 多大な悪影響あり」が2者、「2. 少し悪影響あり」が3者であった。売上高と同じく、原油高・原材料高は採算に悪影響を与えている。

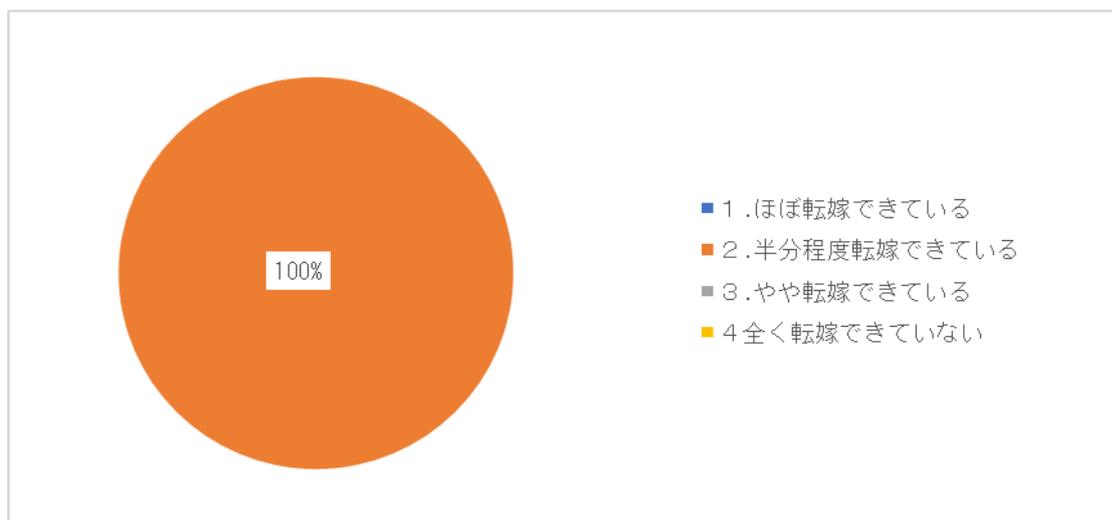
図表 1 6. 原油高・原材料高の採算（経常利益）への影響



(3) 販売価格に転嫁できているか

「2.半分程度転嫁できている」と回答したのは5者あった。前回調査と比べると、販売価格への転嫁が進んでいる。

図表17. 原油高・原材料高を価格に転嫁できているか



(4) 事業への影響 (自由記述)

燃料代、肥料代が高騰しているが、米の販売金額は変わらないので利益が減少する
燃料費、肥料費に大きく影響している
生産コストの上昇
燃料費、肥料代が増加している
燃料代の上昇

8. その他 (自由記述)

その他、地域の景況についてや、商工会へのご意見ご要望等、ご自由にお書きください。

※特に意見はありませんでした。